

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	公衆衛生学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	視聴覚室・講堂
担 当 教 員	名越 究 他	実務経験と その関連資格	島根大学医学部(環境保健医学講座)に勤務			
《授業科目における学習内容》						
公衆衛生学の概念、方法の基礎を学ぶ。一次予防、二次予防及び三次予防とは、その理論に基づき、環境諸要因が個人・集団の健康あるいは社会生活に及ぼす影響について理解を深める。疾病の予防や健康増進へのアプローチの方法等、保健予防・医療に関する知識を習得する。公衆衛生活動の様々な実践活動を学び、人々の健康を守るための組織、器官及び医療従事者の役割や機能への理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
出席状況、筆記試験で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向						
《授業外における学習方法》						
テキストを読み予習をする。授業内容をまとめ復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	公衆衛生の特性を理解することができる。		テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	公衆衛生学総論(名越)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域保健法と保健所の機能を理解することができる。		テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	公衆衛生のしくみ(山科)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	公衆衛生の場における疫学を理解することができる。		テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	集団の健康をとらえるための手法①疫学(松本)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団の健康状態をとらえるための健康指標を理解することができる。		テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	集団の健康をとらえるための手法②保健統計(松本)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	法律に基づく感染症予防対策を理解し、行政や医療者の役割を説明することができる。		テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	感染症とその予防対策(谷口)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康格差と生命倫理についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	社会と健康(谷口)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	学校保健についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	学校と健康(谷口)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	産業保健についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	職場と健康(谷口)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	母子保健についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	地域における公衆衛生の実践①母子保健(谷口)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人保健についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	地域における公衆衛生の実践②成人保健(谷口)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者保健についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	地域における公衆衛生の実践③高齢者保健(山科)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	地域における公衆衛生の実践④精神保健(山科)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者保健・難病についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	地域における公衆衛生の実践⑤障害者保健・難病保健(山科)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	身の回りの環境問題とその対策、健康への影響を理解し、環境行政の概要を説明することができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	環境と健康(山科)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康危機管理体制を理解し、災害保健についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	健康危機管理・災害保健(山科)		